

事業名	科学館運営費		
細事業名	シャトルバス運行費補助金	財務コード	467203
担当部課室	教育委員会	社会教育 課 社会教育振興 担当 (内線)	8354

事業の概要

実施期間	始期 H10 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	補助(山梨交通株式会社)			
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に 車を運転できない交通弱者(障害者・高齢者・青少年等)</td> <td>その対象をどのような状態にして 科学館に来館しやすくなっている。</td> <td>結果、何に結びつけるのか 科学に対する関心と理解の涵養</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に 車を運転できない交通弱者(障害者・高齢者・青少年等)	その対象をどのような状態にして 科学館に来館しやすくなっている。	結果、何に結びつけるのか 科学に対する関心と理解の涵養
だれ(何)を対象に 車を運転できない交通弱者(障害者・高齢者・青少年等)	その対象をどのような状態にして 科学館に来館しやすくなっている。	結果、何に結びつけるのか 科学に対する関心と理解の涵養		
事業の内容 主にH25年度	<p>事業概要 山梨交通(株)のシャトルバス運行費の赤字分を助成する。</p> <p>運行日 土曜日、日曜日、祝日、夏季繁忙期(科学館休館日を除く) 運行経路 甲府市北口～地場産業センター(かいてらす)～科学館 運行回数 1日あたり8往復 運賃 大人200円 小人100円</p>			
根拠法令等	県立科学館シャトルバス運行費補助金交付要綱			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	24年(度)		25年(度)		26年(度)	27年(度)	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	運行日数	132日	134日	134日	135日	135日	目標設定の考え方 過去の実績を踏まえ設定 データの出典等 実績報告書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	100.0 %					
成果指標	乗車延べ人員	6,973人	7,500人	8,857人	7,560人	7,560人	目標設定の考え方 過去の実績を踏まえ設定 データの出典等 実績報告書
	1日平均利用者人数 (乗車延べ人員/ 運行日数)	52.8人	56.0人	66.0人	56.0人	56.0人	
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	%					
決算額又は予算額 (千円)	5,569		5,246	5,993	5,817	成果指標によらない成果	
	うち一財額	5,569		5,246	5,993	5,817	
所要時間(直接分)	60 時間		60 時間	55 時間	50 時間		
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間		
所要時間計	60 時間		60 時間	55 時間	50 時間		
人件費コスト単位:千円 (@2,050円×所要時間)	123		123	113	103		

これまでの事業の見直し・改善状況

11年度	運行時間をわかりやすいパターンダイヤに変更(甲府駅発00分 科学館発30分) 7月1日から8月31日は1便増便
14年度	運行日を第2・4土曜日から全ての土曜日に増便
17年度	地場産業センター(かいてらす)までの路線延長
18年度	夏季の増便を廃止(利用者少) 夏季運行日の精査

活動量と成果の判断(平成25年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方	数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H25年度活動指標の達成率			
b	b		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方	必ず記載すること
H25年度成果指標の達成率			
	b		乗車延べ人員について目標の118%、また特に夏季繁忙期の利用者の増により前年に比べても増えており、意図した成果を上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成27年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄
 a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
 i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成27年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等	「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
現行どおり		

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
 ・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること